

2022年度  
環境経営レポート

(運用期間：2022年7月1日～2023年6月30日)



描く、つくる、これからも。

KUBOTA KENSO

久保田建装株式会社

発行日：2024年7月

# 目次

I .	組織の概要	.....	P 1
II .	実施体制	.....	P 3
III .	環境経営方針	.....	P 4
IV .	環境経営目標	.....	P 5
V .	環境経営計画	.....	P 6
VI .	環境経営目標の実績・取組結果並びに 次年度の環境経営目	.....	P 7
VII .	環境経営計画の取組結果とその評価, 及び 次年度の環境経営計画	.....	P 9
VIII .	当社の取組み	.....	P 10
IX .	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無	.....	P 11
X .	代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	P 12

# I 組織の概要

1. 事業者名 久保田建装株式会社
2. 代表者氏名 代表取締役社長 大石 剛
3. 所在地 東京本社：東京都世田谷区瀬田5-3-6  
静岡本店：静岡市駿河区西脇342-1  
名古屋支店：名古屋市名東区極楽4-1205  
沼津支店：沼津市岡宮1330-4  
浜松支店：浜松市東区上新屋町139-1  
沖縄出張所：沖縄県宜野湾市真志喜 1-11-10
4. 事業活動 建設業(塗装工事を主とした専門工事業)
5. 従業員数 45名
6. 環境管理責任者 牧野 晃  
連絡担当者 牧野 晃
7. 連絡先 TEL(代表)：054-202-2722 FAX：054-202-2725  
Eメール：m.r-kubotakenso@ny.tokai.or.jp
8. 建設業許可  
国土交通大臣許可(特-29) 第2178号  
塗装、建築一式  
国土交通大臣許可(般-29)第2178号  
土木、大工、左官、とび・土工、屋根、ほ装、板金、ガラス、  
防水、内装、建具、石、タイル・れんが・ブロック
9. 事業の規模  
① 設立 1969年7月

② 事業規模

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	3,052	2,651	2,511	3,136
従業員	人	43	44	45	45
床 面 積	東京本社	m <sup>2</sup>	99	99	99
	静岡本店	m <sup>2</sup>	425	425	425
	名古屋支店	m <sup>2</sup>	181	181	181
	沼津支店	m <sup>2</sup>	231	231	231
	浜松支店	m <sup>2</sup>	273	273	273
工事件数	件	1,228	1,164	1,076	1,076
社用車保有台数	台	32	34	30	36

10. 事業年度

7月1日～翌年6月30日

11. レポートの運用期間及び発行日

環境経営レポート運用期間（2022年7月1日～2023年6月30日）

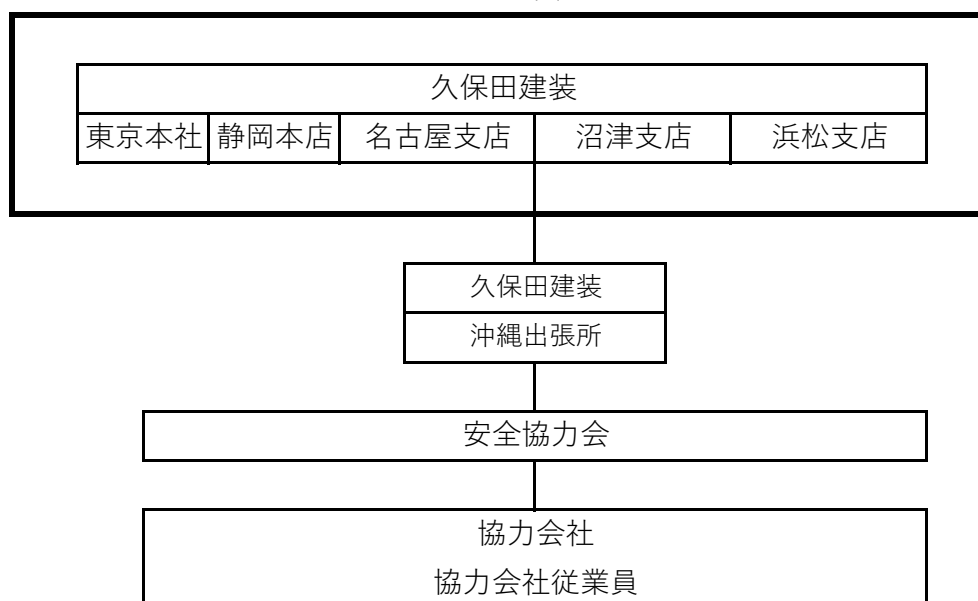
環境経営レポート発行日（2024年7月16日）

12. 認証・登録の対象範囲

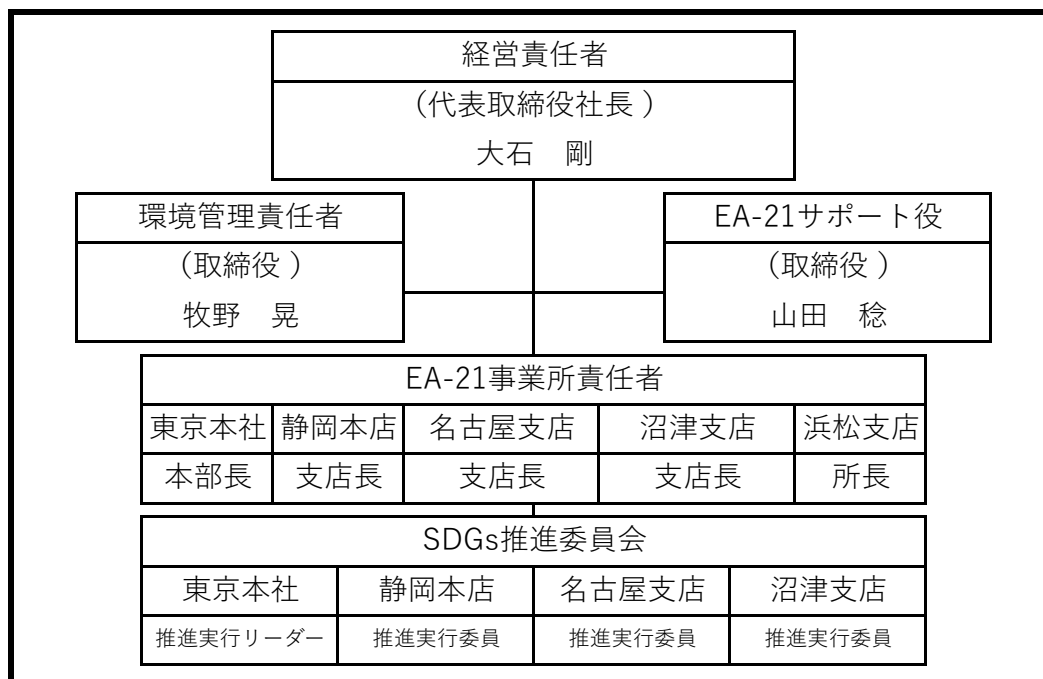
活動：建設業(塗装工事を主とした専門工事業)

対象組織：東京本社、静岡本店、名古屋支店、沼津支店、浜松支店

対象範囲



## II 実施体制



対象範囲

### <環境管理組織における機能>

#### 経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑥ 全体の評価と見直し

#### 環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標・環境経営計画作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告
- ⑤ 各部門のデータのまとめ
- ⑥ 環境経営計画の予実績管理
- ⑦ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ⑧ 環境管理責任者補佐
- ⑨ 環境関連法規等最新版管理
- ⑩ 文書・記録の管理

#### EA-21事業所責任者

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

# III 環境経営方針

## 《環境理念》

大量の化石燃料の消費やゴミの焼却等から発生するCO2(温室効果ガス)による地球温暖化は、海面上昇による陸地の水没や多くの動植物の絶滅等極めて憂慮すべき状態を引き起こしており、人類の英知をもってこれを食い止めなければならない深刻な問題です。

当社は、従来から都市美化推進会社をキャッチフレーズにし、快適で美しい環境づくりを永遠のテーマとして事業活動を進めてきましたが、これを更に環境保全の分野に広め、一層の環境に配慮した事業活動を推進します。

## 《基本方針》

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した活動に取り組めます。そのために、次項を実行することによって、継続的な改善と汚染の予防に努めます。

### 1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取組

- 1) 省エネ（電気・化石燃料）推進によるCO2削減への取組
  - 2) 廃棄物の3R（Reduce/Reuse/Recycle）推進による排出量削減
  - 3) 用水使用量の削減
  - 4) 化学物質(シンナー等)使用量の適正化、及び環境に配慮した施工と完成物件の提供
- 具体的には、水系塗料の使用比率の向上、循環式エコクリーンブラスト工法による施工の提案、施工を推進します。

### 2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守し、法規制に対し、責任・信頼感のある企業を目指します。

### 3. 環境コミュニケーションの積極的实施

社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します。社内においては、全従業員にこの環境方針及び必要事項を周知し、全社員参加による取組を目指します。協力会社従業員にも参加・協力を求めます。

### 4. 環境経営の継続的改善

上に示した環境経営を継続的に改善していきます。

制定年月日：2008年7月25日

改訂年月日：2020年7月1日

久保田建装株式会社 代表取締役社長 大石 剛

# IV 環境経営目標



## 1. 運用期間（2022年7月～2023年6月）の環境目標

項目	単位	基準値 基準年度：2020年度	2022年度目標（%）	
			%	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2	156,327	-0.5	155,545
二酸化炭素削減	購入電力	kWh	-0.5	65,924
	ガソリン燃費	Km/ℓ	+0.5	21.03
	都市ガス使用量	Nm <sup>3</sup>	-0.5	264
紙使用量	Kg	1,312	-0.5	1,305
水使用量	m <sup>3</sup>	325	-0.5	323
産業廃棄物の削減	—	—	3 R の推進	
環境配慮型施工の推進	—	現状把握		

## 2. 中期の環境目標

項目	単位	基準年度	目標年度			
		2020年	2022年	2023年	2024年	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	156,327	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
二酸化炭素削減	購入電力	kWh	66,255	-0.5%	-1.0%	-1.5%
	ガソリン燃費	Km/ℓ	20.926	+0.5%	+1.0%	+1.5%
	都市ガス使用量	Nm <sup>3</sup>	265	-0.5%	-1.0%	-1.5%
紙使用量	Kg	1,312	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
水使用量	m <sup>3</sup>	325	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
産業廃棄物の削減	—	—	3 R の推進			
環境配慮型施工の推進	件	2	現状把握	3件	5件	

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力（2017年度）の調整後排出係数「0.472kg-CO2/kWh」を使用した。

2. 2022年度の環境配慮型施工の推進は、目標値設定が難しく現状把握とする。

# V 環境経営計画



(運用期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

目標	区分	責任者	担当者	活動項目	スケジュール					
					7月～	9月	11月	1月	3月	～6月
二酸化炭素削減	購入電力	事業所責任者	事業所責任者	節電運動展開	→	→	→	→	→	→
				不要照明消灯	→	→	→	→	→	→
				自然風取入				→	→	→
				エアコン22/28、フィルター洗浄				→	→	→
				便座節電		→	→	→	→	→
	ガソリン(社用車)	事業所責任者	社用車運転者	ふんわりアクセル	→	→	→	→	→	→
				加減速の少ない運転	→	→	→	→	→	→
				減速時早めにアクセルを離す	→	→	→	→	→	→
				適切なエアコン使用	→	→				
				無駄なアイドリングはしない	→	→	→	→	→	→
				目的地までのルートを事前確認し余裕のある運転	→	→	→	→	→	→
				タイヤ空気圧を月1回スタンドで確認	→	→	→	→	→	→
				不要な荷物が無いか週1回確認	→	→	→	→	→	→
				違法駐車をしない	→	→	→	→	→	→
月末に走行km報告時、レシートで燃費を確認など	→	→	→	→	→	→				
				ICT活用による走行距離の削減	→	→	→	→	→	
都市ガス	事業所責任者	事務員	暖房の控え目使用		→	→	→	→	→	
紙使用量	事業所責任者	全社員	両面印刷の推進	→	→	→	→	→	→	
			裏面の活用	→	→	→	→	→	→	
			コピーミスの防止	→	→	→	→	→	→	
			不要コピーの防止	→	→	→	→	→	→	
			分別による古紙リサイクル	→	→	→	→	→	→	
			使用済み封筒の利用	→	→	→	→	→	→	
水使用量	事業所責任者	事業所責任者	節水呼びかけ	→	→	→	→	→	→	
産業廃棄物の削減	事業所責任者	事業所責任者	塗料の適正発注量を協力会社に示す	→	→	→	→	→	→	
環境配慮型施工の推進	事業所責任者	事業所責任者	水性塗料の推進	→	→	→	→	→	→	
			循環式ブラスト工法による施工	→	→	→	→	→	→	



## VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標



### ①運用期間の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2020年度	2022年7月～2023年6月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	156,327	-0.5%	155,545	-22%	122,668	○
二酸化炭素削減	購入電力	kWh	66,255	-0.5%	65,924	+9%	72,187	×
	ガソリン燃費	Km/ℓ	20.93	+0.5%	21.03	-2%	20.45	×
	都市ガス使用量	Nm <sup>3</sup>	265	-0.5%	264	+3%	273	×
紙使用量		Kg	1,312	-0.5%	1,305	-27%	961	○
水使用量		m <sup>3</sup>	325	-0.5%	323	-21%	257	○
産業廃棄物の削減		—	-	3Rの推進				○
環境配慮型施工の推進		—	現状把握					○

## VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標



### ①運用期間の環境目標の実績

< 評 価 >

二酸化炭素 削減	原因	<p>基準年度と比べ、購入電力と都市ガス使用量が増加していた。今年度は昨年度に続き、営業面や人的リソース面で支店間の連携を戦略的に強化しており、その結果、支店間で社員の移動や社員の滞在時間が増え、電力とガスの使用増加につながった。一方、ガソリン燃費についても減少しており、こちらはより一層のエコ運転活動の啓蒙と推進が課題と捉える。</p>
	是正	<p>営業面や体制面での連携によるエネルギー使用量の増加については、次年度以降の目標を設定する際に状況を鑑みて設定を検討する。</p> <p>ガソリン燃費向上については、SDGsの活動とリンクさせながら、より一層の相乗効果を得ながら推進していく。</p>

### ②次年度の環境経営目標

営業方針とリンクさせた環境経営目標を設定する

## VII 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

目標	区分	責任者	担当者	活動項目	評価と次年度への取り組み		
					評価	内容	次年度
二酸化炭素削減	購入電力	事業所責任者	事業所責任者	節電運動展開	○		実施継続
				不要照明消灯	○		実施継続
				自然風取入	○		実施継続
				エアコン22/28、フィルター洗浄	△	支店により実践のバラツキがあった	実施継続
				便座節電	○		実施継続
	ガソリン(社用車)	事業所責任者	社用車運転者	ふんわりアクセル	○		実施継続
				加減速の少ない運転	○		実施継続
				減速時早めにアクセルを離す	○		実施継続
				適切なエアコン使用	○		実施継続
				無駄なアイドリングはしない	○		実施継続
				目的地までのルートを事前確認し余裕のある運転	○		実施継続
				タイヤ空気圧を月1回スタンドで確認	○		実施継続
				不要な荷物が無いか週1回確認	○		実施継続
				違法駐車をしない	○		実施継続
月末に走行km報告時、レシートで燃費を確認など	○		実施継続				
ICT活用による走行距離の削減	○		実施継続				
都市ガス	事業所責任者	事務員	暖房の控え目使用	○		実施継続	
紙使用量	事業所責任者	全社員	両面印刷の推進	○		実施継続	
			裏面の活用	○		実施継続	
			コピーミスの防止	○		実施継続	
			不要コピーの防止	○		実施継続	
			分別による古紙リサイクル	○		実施継続	
			使用済み封筒の利用	○		実施継続	
水使用量	事業所責任者	事業所責任者	節水呼びかけ	○		実施継続	
環境配慮型施工の推進	事業所責任者	事業所責任者	水性塗料の推進	○		実施継続	
			循環式プラスト工法による施工	△	昨年度よりはポイントが向上した	実施継続	

<備考>

評価判定：○(良くできた) △(まあまあできた) ×(できなかった) - (実施が見送られた)

## VIII 当社の取組み

### 《地域との融合》

当社は『「小さな親切」運動』の会員として定期的にクリーン作戦に参加し、周辺地域の清掃活動を実施しています。

12月10日には静岡市中心部の青葉シンボルロードの清掃活動に参加させていただきました。



## IX 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2023年9月1日

評価者 環境管理責任者 牧野晃

法規・条例・規制		条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価		
義務	法律	廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○	
			第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守、保管場所の表示（60cm×60cm 以上掲示）	○	
			第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○	
			第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○	
			第12条の3第1項	マニフェストの交付		○	
			第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○	
			第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○	
			第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○	
			第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2（90日以内）、D,E票（180日以内）の期間内返却	○	
	法律	浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○	
			第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	○	
			第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施（1回/年）	○	
	法律	フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	第16条	冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 圧縮機電動機定格出力に応じた資格者による「定期点検」 ②空調機（50kW以上）1年に1回以上 ③空調機（7.5kW～50kW未満）3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器（7.5kW以上）1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認、機器廃棄後3年間保管のこと ②、③、④有資格者による定期点検実施	○	
			建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○
				第25条第1項	主任技術者の設置		○
	第25条第2項	管理技術者の設置			○		
	静岡県条例	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置		○	
			第10条	委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○	

### 2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間に於いて関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

## X 代表者による全体の評価と見直し・指示

1・見直し関連情報	項目		確認 (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>
2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	未達の部分に対し改善を指示しました
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありませんでした
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありませんでした
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
8	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>昨年よりSDGsへの取り組みを開始し、エコアクション21への取り組みとリンクさせながら活動を推進しています。まだまだ未熟な部分がある事はありませんが、社員一丸となって、地域社会の持続可能な発展に貢献できるよう、次年度もより良いパフォーマンスを発揮できるよう、尽力してまいります。</p> <p style="text-align: right;">2023年9月1日 久保田建装株式会社 代表取締役 大石 剛</p>			
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等	
	1	環境経営方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	2	環境経営目標	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	3	環境経営計画	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	営業方針に合わせた計画を検討
	4	環境に関する組織（実施体制含め）	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	5	その他のシステム要素	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	6	その他（外部への対応）	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	